



地震時の電気火災の事例や対策方法、電気火災対策を踏まえたまちづくりについて学びました。

本年5月第1回全体協議会では、「地震時の電気火災対策」について学びました。

過去の地震における火災をみると、阪神・淡路大震災、東日本大震災においては、いずれも過半数が電気火災となっています。そのため、本年4月、内閣府は感震ブレーカー（設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断する装置）の設置を勧告する規程を設けました。

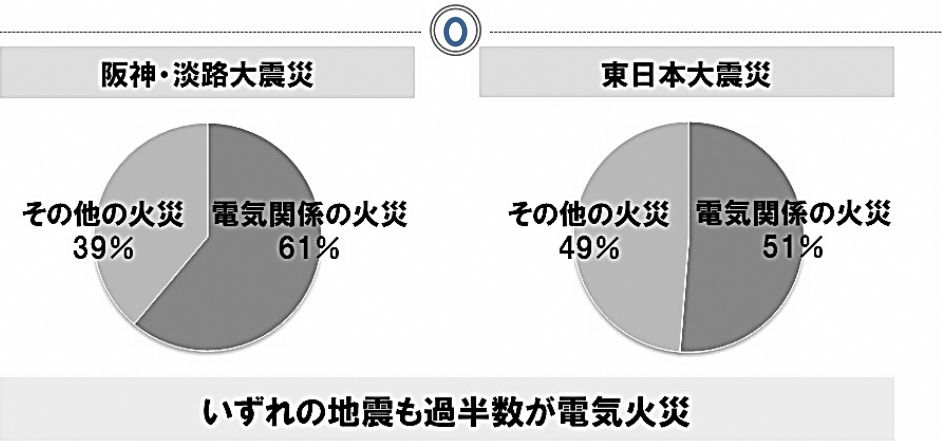
実は、東日本大震災時における豊島区内での火災は2件発生（状況は右下参照）、いずれも通電継続時の電気火災であり、居住者が不在時に火災が発生しています。

電気火災は、戸建て住宅に限らず、マンションでも同じリスクを抱えています。

さらに、内閣府では、上池袋地区のような延焼火災のリスクを抱える密集市街地において、①建物の耐震化や不燃化など防火性能の確保と、②感震ブレーカーの設置や家具の転倒防止策、消火訓練の実施など出火抑制策の推進という、両輪の対策を進めることが重要、としています。

首都直下地震が起きて、避難する必要があるときにブレーカーを落とす余裕がないかもしれません。ご家庭の備えについて、皆さまも是非ご検討下さい。

過去の地震における火災



注) 阪神・淡路大震災は地震後1日間の火災を対象。東日本大震災は地震後3日間の火災を対象。

出典：大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会、大規模地震時の電気火災抑制策の方向性について(報告)、平成30年3月。

【東日本大震災における豊島区内の火災状況】

- 地震により観賞魚用ヒーターが衣類上に落下し、サーモスタット（温度調節機能）が機能停止、過熱し衣類に着火（震度5弱、3月11日15:02に出火、共同住宅）
- 地震により蓄熱式電気暖房器が床面に転倒。23時からセットしてあったタイマーが作動したことから、ヒーター部分が過熱し床面に着火（震度5弱、3月12日6:03に出火、戸建て住宅）

出典：豊島区、震災対策の強化をめざした当面の方針、平成23年9月。

👉ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1

豊島区都市整備部 地域まちづくり課 TEL 3981-1464

令和元年11月発行「上池袋地区まちづくりニュースNo.65」

企画・編集・発行：上池袋地区まちづくり協議会・上池袋まちづくり協議会事務局（豊島区都市整備部地域まちづくり課）

編集協力：防災都市計画研究所 TEL 3262-6376

上池袋地区

令和元年11月発行

企画・編集・発行：上池袋まちづくり協議会
豊島区地域まちづくり課

題字：西村鶴洞氏

No.65

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース



池一小の児童と一緒に通学路を点検しました

上池袋第2・3・4地区まちづくり協議会では、令和元年5月11日、池袋第一小学校土曜日公開授業に参加しました。

公開授業では、池一小建替え期間に仮校舎となる旧文成小学校への通学路の安全点検を目的にまち歩きを行い、協議会委員は、グループに分かれた児童達の先導係をつとめました。

詳しくは、次ページをご覧ください。

上池袋第1地区まちづくり協議会では、令和元年7月25日、『上池袋第一地区まちづくり協議会の活動記録』の冊子を高野区長に提出し、協議会による上池袋1丁目のまちづくり活動を報告しました。

『上池袋第一地区まちづくり協議会の活動記録』は、これまでの協議会活動や、それによってまちがどのように変化してきたか等の活動成果をまとめるとともに、今後のまちづくりを考えていくための基礎資料とするものです。昨年度より、協議会で作成しました。

報告会の様子を、次ページに掲載しましたのでご覧ください。

写真は左から
藤本令子委員、菅沼稔協議会会長、高野之夫区長、小松聡委員、林総一郎委員



第1地区まちづくり協議会のまちづくり活動を区長に報告しました！



第1地区協議会では、令和元年7月25日、『上池袋第一地区まちづくり協議会の活動記録』冊子を区長に提出し、協議会の活動報告会を行いました。

報告会では、まず、協議会から「災害に強く住み続けられるまち」を目指してきたこの24年間の各活動を振り返り、生活者の目線から地域の意見をまとめて提案してきたことなど活動概要を説明しました。

次いで高野区長から、地区の主な課題や現況について尋ねられ、①地区内は上池袋東公園など大きなオープンスペースがあるエリアと、建物が密集するエリアに分かれていること、②建物密集エリアには道路幅員が1mにもならない区有通路があり、建替えができないため防災上の課題として残っていること、③最近では門や塀を設けない建売りへの建替えが多く、災害時に倒壊が心配なブロック塀が減少してきたことなどを説明しました。

さらに、協議会委員から「癌研跡地整備の提言や新築調査、車いすでの調査、ブロック塀調査などテーマを毎年決めて、継続して進めてきた。まちづくり活動の成果は短期的には見えにくいですが、こうして俯瞰してみると積み上げてきた成果があったことを感じる。」などの意見が出ました。

最後に、高野区長から「防災を中心にまちづくりをしてきたことが良く分かった。かなり綿密にあらゆる角度から調べられている。これをどうか、区でしっかりと受け止めて考えていきたい。」との発言がありました。

今後も、協議会ではまちづくり活動を継続して進めていきたいと考えています。



『上池袋第一地区まちづくり協議会の活動記録』、全66ページ



池袋第一小学校児童と、旧文成小学校への通学路の点検をしました！



第2・3・4地区協議会では、令和元年5月11日、池袋第一小学校土曜日公開授業に参加し、池一小から仮校舎となる旧文成小学校への通学路ルートの安全点検を行いました。

当日は、3年生・4年生の児童計80名とその保護者が10グループに分かれて歩きました。協議会委員はグループの先導係となり、交通安全に気を付けて歩く役割をつとめました。

児童は、交通に関する危険な場所や、子ども110番の場所、地震時に倒れたら危ないブロック塀などを見ながら歩き、危ない場所はグループリーダーの児童が持つ地図の上に○をつけました。

後日、参加した協議会委員で、通学路のまち歩きに参加して感じたことについて、意見交換を行いました。

- ・ 銭湯の塀は心配したが、廃業してきて来年度取り壊し予定とのこと。
- ・ 旧文成小の近くでブロック塀があったが、他はとくに無いようだった。
- ・ 北池袋駅近くの放置自転車が、道路の路側帯（白線の内側）を塞いでいて危ないと感じた。
- ・ 土曜日に行ったが、平日朝はもっと交通量が多いのではないかと。
- ・ 商店街なので看板等があり、地震時に転倒すると危ない。

その後、10月に協議会として防災の視点での通学路のまち歩きを行っており、その成果を皆様にもご覧頂くため、現在、まとめの作業中です。

今回、一緒に活動した児童の皆さん、保護者の皆さま、先生方には御礼申し上げます。ありがとうございました。



土曜日公開授業の様子

